

診療科研修プログラム申請書
研修プログラム名【てんかん発症プログラム】

1. 診療科（専門領域）

てんかん診療科（小児科、精神科、または脳神経外科）

2. 研修期間

2年

3. 募集人員

3名（各科1名相当）

4. 短期目標

- ・ てんかんの診断と治療に関する高度な専門的知識を習得する。
- ・ てんかんの診断を的確に行い、最も適切な治療法を選択し、遂行する能力を高める。

5. 短期取得手技

- ・ 小児てんかんの診断、及び治療法。 (小児科)
- ・ てんかん症候群の診断、及び治療法。 (精神科、脳神経外科)
- ・ てんかんの脳波の検査手技と判読法の習得。 (小児科、精神科、脳神経外科)
- ・ 各種誘発電位検査の検査手技と評価法。 (小児科、精神科、脳神経外科)
- ・ てんかんの頭部画像診断法の習得。 (小児科、精神科、脳神経外科)
- ・ MEG（脳磁図）検査手技（マッピング）と判読法の習得。 (小児科、精神科、脳神経外科)
- ・ てんかんの薬物治療（向精神薬療法を含む）の習得。 (精神科)
- ・ 脳血管撮影とワダテストの検査手技と判読法の習得。 (脳神経外科)
- ・ 脳神経外科基本手術手技と術中モニタリングの習得。 (脳神経外科)

6. 診療科の実績と経験目標症例数
症例数と手術件数の調査年度

主 要 疾 患	入院数（年間）				経験目標症例数（2年間）			
	小	精	脳	計	小	精	脳	計
ウエスト症候群	15			15	6			6
症候性全般てんかん	20	10		30	4	10		14
Lennox-gastaut 症候群	3	1		4	2	2		4
ミオクロニー失立てんかん	5			5	4			4
症候性局在関連性てんかん	40	80		120	20	80		100
進行性ミオクロヌステんかん	5	5		10	4	4		8
特発性全般てんかん	10	20		30	6	10		16
未決定てんかん	5			5	4			4
特発性局在関連性てんかん	5			5		4		4
てんかん精神病		20		20		20		20
リハビリを要するてんかん		10		10		10		10
内側側頭葉てんかん			10	10			10	10
新皮質てんかん			10	10			10	10
その他のてんかん			2	2				

手 術	件数（年間）				経験目標件数（2年間）			
	小	精	脳	計	小	精	脳	計
硬膜下電極設置術			15	15			20	20
側頭葉切除術			10	10			10	10
焦点切除術			10	10			10	10
脳梁離断術			1	1			2	2

7. 診療科の指導体制

(小児科)

診療科医師数 常勤 4名、非常勤 0名

診療科研修の指導にあたる医師 3名

主として研修指導にあたる医師の氏名 遠山 潤

〃 診療科経験年数 23年

(精神科)

診療科医師数 常勤 3名、非常勤 0名

診療科研修の指導にあたる医師 1名

主として研修指導にあたる医師の氏名 笹川 睦男

〃 診療科経験年数 30年

(脳神経外科)

診療科医師数 常勤 4名、非常勤 0名

診療科研修の指導にあたる医師 1名

主として研修指導にあたる医師の氏名 増田 浩

〃 診療科経験年数 23年

8. コンセプト

- ・ てんかん専門領域と関連領域の系統的な研修で、裾野の広い臨床医を育む。
- ・ 新潟大学との質の高い交流研修を実施し、視野の広い専門性に富む臨床医を育む。
- ・ 個々の医師の将来に向けた柔軟で明確な研修プログラムを用意する。
- ・ 医療の質を高める臨床研究を実践する。

9. 共通領域研修について

- ・ 新潟大学脳研究所との交流研修の実施。
- ・ 週1回、てんかん検討会の開催。
- ・ 各種セミナーへの参加。
- ・ 学会、地方会への参加、発表。